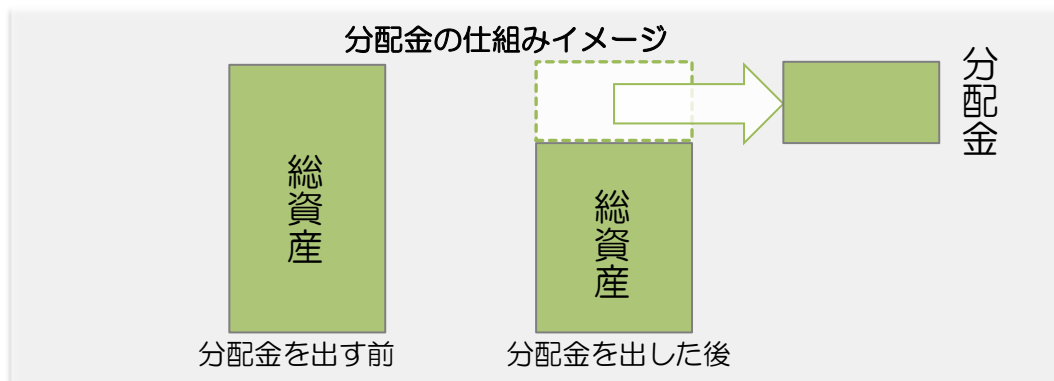


## もう一度確認したい分配金のしくみ

今回は記念すべき読得の連載100回目ということで、ご質問をいただきやすい「分配金」についてご説明します。投資信託の分配金とは、投資信託を保有していれば必ずもらえるというものでもなければ高ければ高いほどいいというものでもありません。分配金の方針は運用会社が投資信託の決算タイミングで基準価額や市場動向等を考慮して決めています。

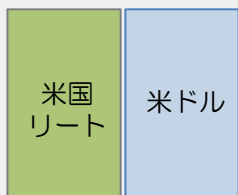
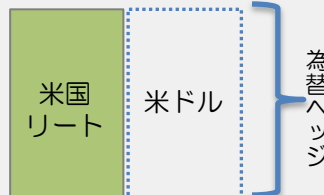
## 分配金は高ければ高いほどいいの？

分配金の原資はみなさんが投資したお金を運用した総資産であるため、分配金が支払われるとその分は投資信託全体の資産から払い出され、基準価額は下がります。つまり分配金が高ければ高いほど「お得」というわけではないのです。



## コースによって分配金が違うことがあるのはなぜ？

投資信託においては、ひとつの商品の中に複数のコースがあるものもあります。コース間での違いとしては決算の頻度、投資対象や資産配分、為替リスクの有無等が挙げられます。したがって投資信託の名称は同じでも、コースによっては分配金が変わることがあります。たとえばよく耳にする「為替ヘッジ」について複数コースがある場合だと為替の影響を受けるか受けないか、もしくは一部受けるか等によって基準価額が異なるため分配金額もコース間で違いが出る可能性もあります。

米国リート・為替ヘッジなしコース  
リスクイメージ米国リート・為替ヘッジありコース  
リスクイメージ

たとえば米国リートに投資をする商品で為替ヘッジなしコースの場合、米国リートのリスクと同時に為替（米ドル）のリスクも負うことを意味します。



本資料は、情報提供を目的としてゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社(以下「弊社」といいます。))が作成した資料であり、特定の金融商品の推奨(有価証券の取得の勧誘)を目的とするものではありません。本資料に記載された過去のデータは将来の結果を保証するものではありません。本資料は、弊社が信頼できると判断した情報等に基づいて作成されていますが、弊社がその正確性・完全性を保証するものではありません。本資料に記載された市場の見通し等は、本資料作成時点での弊社の見解であり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更する場合もあります。個別企業あるいは個別銘柄についての言及は、あくまで例示をもって理解を深めていただくためのものであり、当該個別銘柄の売買、ポートフォリオの構築、投資戦略の採用等を推奨あるいは勧誘するものではありません。本資料の一部または全部を、弊社の書面による事前承諾なく(I)複写、写真複写、あるいはその他いかなる手段において複製すること、あるいは(II)再配布することを禁じます。経済、市場等に関する予測は資料作成時点のものであり、情報提供を目的とするものです。予測値の達成を保証するものではありません。

<審査番号: 12511-TMPL-09/2015-61660> © 2015 Goldman Sachs. All rights reserved.